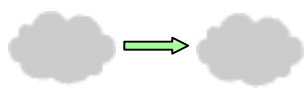





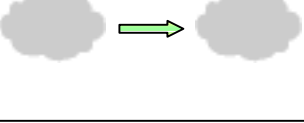



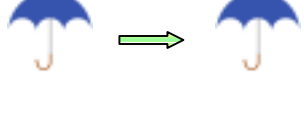

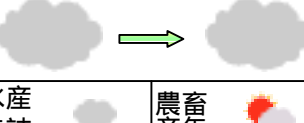

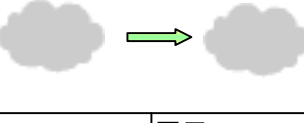











【産業動向概要】

<p>産業全体</p> 	<p>06年1月を中心とする県内経済の動向は、個人消費は緩やかに回復の動きが継続し、企業の生産活動、設備投資ともに堅調に推移している。有効求人倍率は21ヶ月連続で1倍を超え、雇用環境ははっきりとした改善傾向が続いている。このように、県内経済は、企業部門が牽引する形で、個人消費・雇用環境ともに改善し、回復の動きを続けている。</p>
--	--



























<p>観光・旅館業</p>			<p>伊豆全体の年末年始の宿泊客数は概ね前年並みで推移。寒波の影響で各地の開花が遅れ、観光客の出足に若干の影響がみられる。河津桜祭りの観光客数は昨年比9%増。東伊豆・南伊豆地区の宿泊施設等を中心にプラス影響が出ている。</p>
<p>紙類</p>			<p>原料古紙価格、燃料価格とも高い状態が継続、メーカーのコスト負担はさらに重くなっている。家庭紙の市況は横ばいで推移も、価格水準自体はきわめて低い状態が続き、メーカーの採算は厳しい状態にあるとみられる。段ボール原紙も原燃料コスト負担が大きく、採算面では厳しい。</p>
<p>水産業</p>			<p>11月～1月の静岡県主要漁港の総水揚量は、前年比約24%の減少となった。これを受け、水揚げは前年比約19%の減少となった。個別経営体については、燃料価格の高止まりの可能性があるので、先行きに対する不安は消えていない。</p>
<p>一般機械（主要）</p>			<p>金属工作機械は、引き続き二桁の増加を確保したものの、ピークアウトが現実のものとなっており、依存度の高い自動車業界向けの受注動向が注目される。金型は引き続き増加基調で推移するものと思われるが、パルプ及び製紙機械・プラスチック加工機械に関しては依然減少が続いている。</p>
<p>木材</p>			<p>11月～1月県内の住宅着工は順調に推移したが、製材品の生産実績は前年を1.1%下回った。今後も在来工法住宅（木造）の伸び悩みが予想され、製材品生産は横ばいに推移するものとみられる。価格については、原木等の値上がりから上昇基調にある。</p>
<p>缶詰</p>			<p>水産缶はコスト高止まりや輸入品増加の影響で生産量の減少傾向が継続。清涼飲料市場は緑茶飲料をリード役に成長しているが、飲料メーカーによる缶類充填の内製化が進展し、パッカーの業績は伸び悩む状況が継続する見込み。</p>
<p>楽器</p>			<p>12月～2月のピアノは生産台数、販売台数ともに前年実績を上回った。販売台数の増加は、縦型のアメリカ向け輸出が増加したことによる。在庫は積み上がり傾向にあるが、これは輸出向けの一時的な増加である。また、電子楽器類は中国やインドネシアでの海外生産シフトの影響等により、国内での生産・販売が減少傾向にある。</p>

輸 送 用 機 器			<p>11月～1月の二輪車生産台数は、国内向けが大型スクーターなどの好調により前年比増加、一方の輸出向けはアジアでの現地生産の拡大から大きく減少している。自動車部品は、好調な輸出向けを背景に、受注量は確保しているが、原油等原材料価格の高騰、部品価格の低下等から利益率は低下している。</p>
	二輪車 	自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	04/1 (04/3)	04/4 (04/6)	04/7 (04/9)	04/10 (04/12)	05/1 (05/3)	05/4 (05/6)	05/7 (05/9)	05/10 (05/12)	06/1 (06/3)	
概況 			—————→							
観光・旅館業 		————→			————→					
紙類 		————→			————→					
水産 		————→							————→	
一般機械(主要) 		————→				————→				
木材 		————→								
缶詰 		————→								
楽器 			————→							
輸送用機器 		————→								